

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サーパス博多南	階数	地上10F
建設地	福岡市博多区板付四丁目7番1・7番	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域, 法22条区域	平均居住人員	268人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 竣工	評価の実施日	2017年2月1日
敷地面積	2,649 m ²	作成者	燦設計室 山崎
建築面積	718 m ²	確認日	
延床面積	5,400 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 57%
③上記②以外の 57%
④上記+ 57%

0 46 92 138 184 230 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.3**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.4**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
建物の維持管理のし易さ、長寿命化、省エネルギー性能の確保、地域景観への配慮	
Q1 室内環境 省エネルギー性能の確保、床衝撃音の低減、ケレ抑制、F☆☆☆☆建材の採用	Q3 室外環境 (敷地内) 道路沿いの緑地の確保、景観を意識した建物配置及び意匠
LR1 エネルギー 省エネルギー性能の確保、高効率設備機器の採用	LR3 敷地外環境 適切な量の自転車及び駐車場の確保
Q2 サービス性能 建物劣化対策、各種ガラスの設定	
LR2 資源・マテリアル 節水機器の採用、躯体と仕上材の分別のし易さ	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される